

# 第7章 会津産業ネットワークフォーラム（ANF）

## 1 設立の目的

少子高齢化や人口減少の急速な進行に伴い、会津地域においても地域活力の低下が深刻に懸念される状況のもと、将来にわたりこの地域の持続的な発展を図っていくためには、地域社会と密接に連携しつつ、企業としての立場から様々な提言を行うとともに、このために自らも主体的かつ具体的な取り組みを行っていくことが必要です。

このため、会津地域の振興に企業の立場から取り組み、地域とともに成長、発展することを目指し、地域に根ざす製造業を核とした企業間の連携組織として、平成20年9月に「会津産業ネットワークフォーラム」が設立されたものです。

### 【基本的な考え方】

- ① 企業市民として地域社会に貢献
  - 地域に根づいた企業市民としての立場から、地域貢献を積極的に行います。
  - 会津地域が将来にわたり社会的・経済的な豊かさを享受できるよう、次の時代に向けた「備え」を検討します。
- ② 地域の産業・経済の活性化のための取り組み
  - 会津地域の産業・経済の活性化策を図るため、企業力向上に取り組みます。
  - 本地域内での企業立地を促進するための方策を検討します。
- ③ 企業間連携による持続的成長・発展のための自主的な活動の展開
  - 企業間の情報を共有化し、連携・協力関係を構築しつつ、共に各企業の持続的成長・発展を図るための取り組みを行います。

## 2 具体的な取り組み

「会津産業ネットワークフォーラム」は、地域において我々が新たな可能性に向けた活動を自主的に行うことにより、地域社会との連携や企業間の連携・協力体制を確立し、様々な課題解決を図ることにより、自らの成長と地域の発展に寄与できる組織になることを目指します。会津が発展することは、企業の成長にとっても欠かすことのできないものであるとの認識を持って取り組みます。

当フォーラムの設立目的を達成するため、次に掲げる事項について具体的に取り組みます。

- ① 企業間交流・連携の促進
  - ・会員相互理解及び会員間取引の機会創出に向けた「技術プレゼン会」の開催。
  - ・相互理解と経営力向上を目指し、経営者が集い親睦を深め、交流を促進する場としての「経営者会」の開催。
  - ・企業のデジタル化及び全体最適化を図るとともに、デジタル基盤を共有し生産性向上に向けた中小企業のコネクテッドインダストリー4.0に対応したプラットフォームプロジェクトへの参画。
- ② 販路拡大
  - ・自動車メーカーへのアプローチを目的に、企業間の情報交換と学ぶ場としての「自動車プロジェクト」の実施。
  - ・新商品開発や技術課題の解決に向けたきっかけづくりとして、東北大学大学院堀切川教授による「御用聞き訪問」の実施。
  - ・ANF会員企業による「機械要素技術展（見本市）等」への共同出展を支援。
- ③ 産学連携
  - ・技術者同士が交流を深めながら、自社が抱える問題や課題を解決に導く取組みとして「中堅社員の集い」の開催。
- ④ 人材育成
  - ・技術力や技能向上を支援するため、資格取得の支援及びものづくりの現場で求められる実践的な各種「研修事業」の実施。
  - ・将来のものづくり人材育成に向け、高校と企業との連携強化や「ロボコン」開催への協力などを実施。
- ⑤ 会員企業の拡大
  - ・さらなる地域活性化を目指し、会員企業の拡大に向けた取り組みを行います。